

ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

国土地理院 基盤地図情報 <http://www.gsi.go.jp/>

国土地理院サイトから基盤地図情報サイトに入る。

基盤地図情報サイト

基盤地図情報関連ページ

- 基盤地図情報のダウンロード

下記画像をクリックいただくと、全国の基盤地図情報をダウンロードできます。過去に公開した基盤地図情報もダウンロードできます。

基盤地図情報の
ダウンロード



- 基盤地図情報の整備状況

下記画像をクリックいただくと、基盤地図情報の整備状況、整備範囲を調べることができます。

基盤地図情報の
整備状況



+++++

●下図からログインすると、「ファイル選択」からデータをダウンロードできる。

ログイン ID : t o k a i r ログインパスワード : r r r r r r r r



[ログイン](#) [基盤地図情報サイト](#) [地理院ホーム](#)

[ダウンロード](#) [データの説明](#) [利用者登録](#) [各種資料](#) [更新情報](#) [お知らせ](#) [利用規約](#) [使い方](#) [FAQ](#) [お問い合わせ](#)

ダウンロード

ダウンロードしたい基盤地図情報の「ファイル選択へ」ボタンをクリックしてください。

基盤地図情報 基本項目

過去のデータもダウンロードできます

[ファイル選択へ](#)

[データの説明](#)

基盤地図情報 数値標高モデル

過去のデータはダウンロードできません

[ファイル選択へ](#)

[データの説明](#)

基盤地図情報 ジオイド・モデル

[ファイル選択へ](#)

[データの説明](#)

ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

●基盤地図情報データからダウンロードできるデータ

ファイル形式・・・JPGIS (GML) 形式 ⇒ ①ArcGIS でシェープ等に変換

②基盤地図情報ビューワ FGDV で表示
し、シェープへエクスポート

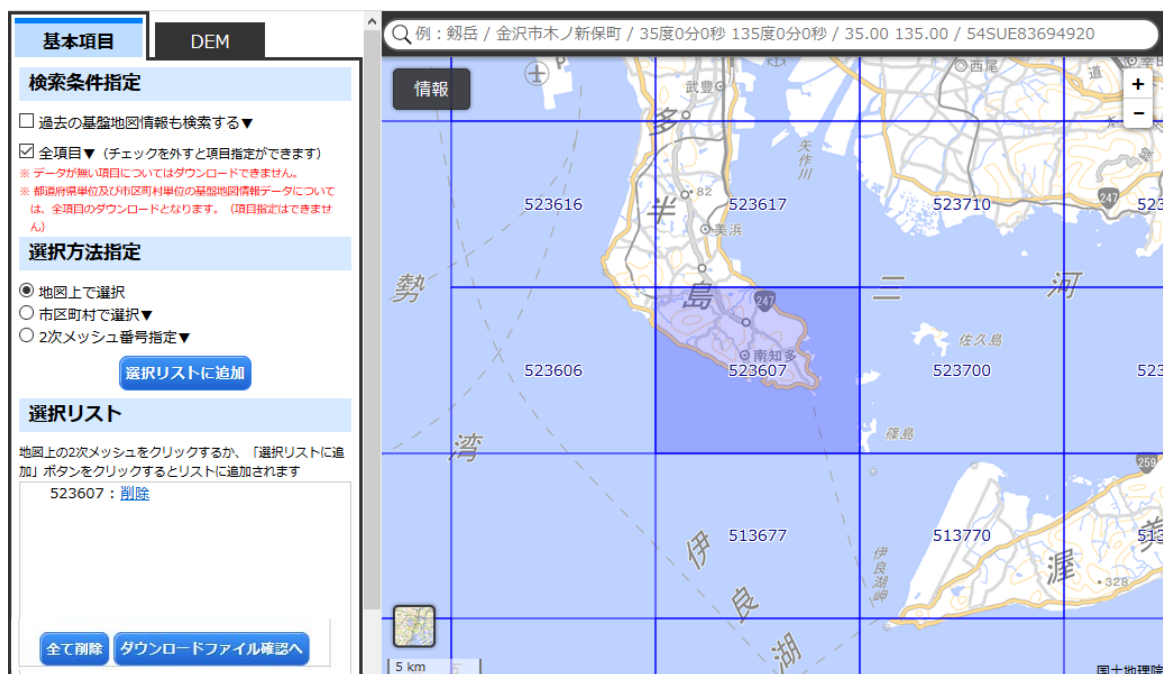
基本項目・・・・・・「測量の基準点」、「海岸線」、「行政区画の境界線及び代表点」、「道路縁」、「軌道の中心線」、「標高点」、「水涯線」、「建築物の外周線」、「市町村の町若しくは字の境界線及び代表点」、「街区の境界線及び代表点」の10項目

数値標高モデル・・・標高のメッシュデータ

5m メッシュ（航空レーザ測量・写真測量）及び10m メッシュ

●「基本項目」のダウンロード方法

地図を拡大して欲しい範囲のメッシュ番号を全部クリックし、「ダウンロードファイル確認へ」ボタンをクリックする。



チェック欄に☑した後、「まとめてダウンロード」をクリックする。

ダウンロードファイルリスト

※一度に多くの選択を行うと、データサイズが大きくなり、ダウンロードできないことがあります

戻る

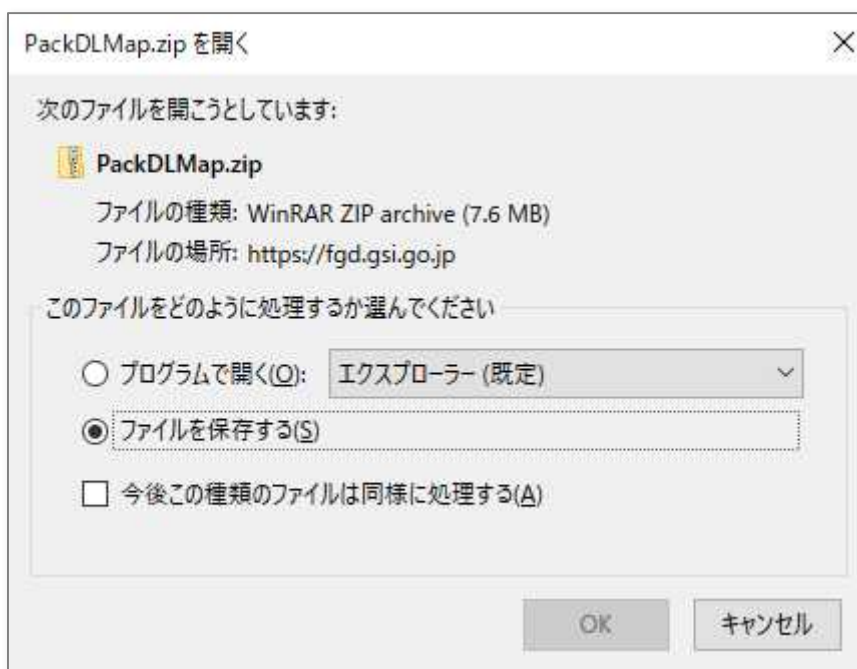
トップページに戻る

チェック 全てチェック まとめてダウンロード 削除

チェック	ファイル名	基盤地図情報種別	更新年月日	項目分類	項目名	容量 (KB)	個別
<input checked="" type="checkbox"/>	FG-GML-523607-ALL-20160101.zip	基盤地図情報 最新データ	2016年01月01日	523607	全項目	7875	ダウンロード
	第29条測量成果の複製承認申請.xml	申請(ワンストップサービス)用入力補助ファイル				-	ダウンロード
	第30条測量成果の使用承認申請.xml	申請(ワンストップサービス)用入力補助ファイル				-	ダウンロード

ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

PackDLMap.zip という名前のファイルがダウンロードできる。



一般的に、PackDLMap.zip は PC のダウンロードフォルダに保存されているので、デスクトップ等のわかりやすい場所へ移動して解凍する。

解凍は、PackDLMap.zip を解凍するだけで良く、出来たフォルダの中身をさらに解凍する必要は無い。(これ以降の処理は、ArcGIS または FGDV で処理が可能だからである。)

ダウンロードしたデータの座標系等の情報は、「よくあるご質問」を参照するか、若しくはダウンロードしたデータに付属してくるメタデータ (例：fmdid16-0101.xml) をメタデータエディタで開いて確認する。

「よくあるご質問」の URL <http://www.gsi.go.jp/kiban/faq.html>

「メタデータエディタ」をダウンロードできる URL

<http://psgs2.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyou/meta-editor.html>

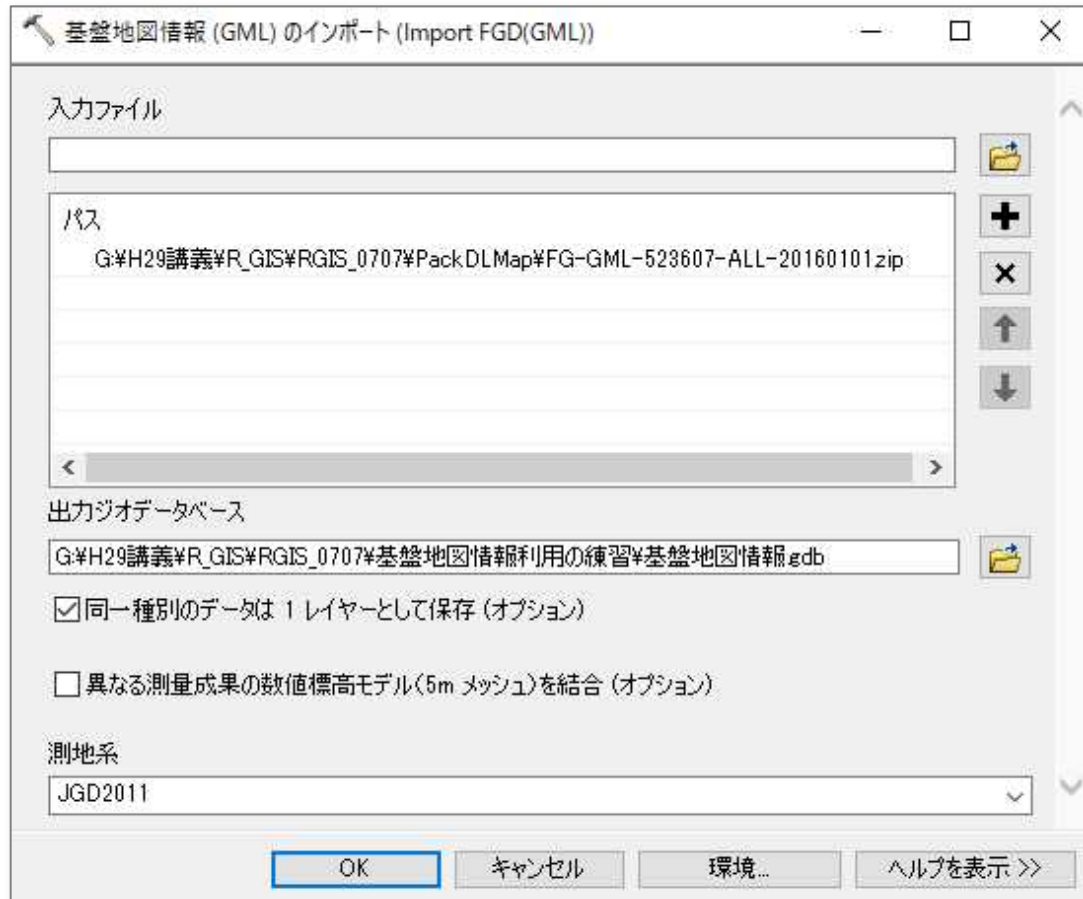
ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

●ArcGIS の変換ツール（国内データ）を利用したインポート方法

- ① 適当なフォルダに基盤地図情報のデータをインポートするジオデータベースを作成しておく。
- ② ArcCatalog の ArcToolbox から下図のように開き、「基盤地図情報（GML）のインポート」を W クリックする。





















- ③ PackDLMap.zip を解凍した中身（例 FG-GML-523607-ALL-20160101.zip）を入力ファイル欄にドラッグ＆ドロップし、出力ジオデータベースに準備したジオデータベースを指定して、「同一種のデータは…」に ☒ を入れて OK する。



ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

- ④ インポートが完了すると、以下のファイルがジオデータベースの中に確認できる。ファイルの名前の意味と詳細は、別紙「基盤地図情報 命名規則(000093391).pdf」を参照。

コンテンツ	プレビュー	説明
名前	タイプ	
 AdmArea	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 AdmBdry	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 AdmPt	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 BldA	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 BldL	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 Cntr	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 CommBdry	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 CommPt	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 Cstline	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 ElevPt	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 GCP	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 RailCL	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 RdCompt	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 RdEdg	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 WA	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 WL	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 WStrA	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	
 WStrL	ファイル ジオデータベース フィーチャクラス	

- ⑤ 追加したレイヤは、「ArcGIS 変換ツール利用」の名前でまとめておく。

●演習課題

課題 1 上記「基本項目」のデータの座標系を確認しなさい。

課題 2 ArcMap を起動して、マップレイヤの座標系を平面直角座標系に設定し、課題 1 のデータをすべて表示しなさい。

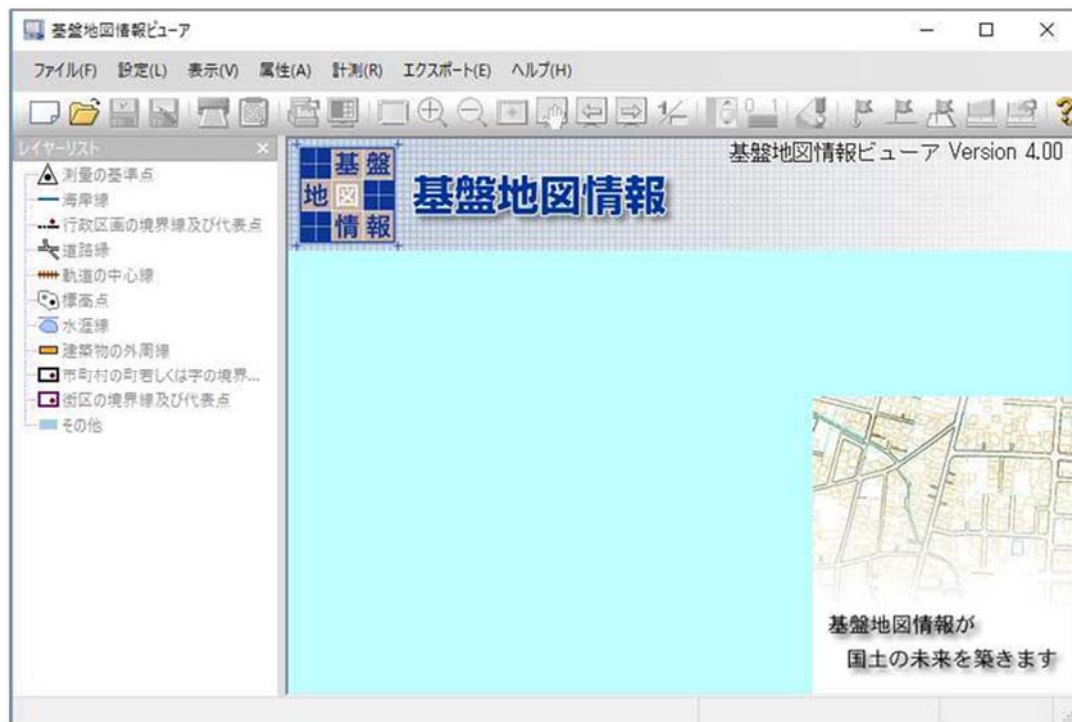
課題 3 演習した範囲の「数値標高モデル」データを

- (1) 基盤地図情報サイトからダウンロードし、
- (2) 解凍して、ジオデータベースへインポートし、
- (3) 座標系を確認して、課題 2 のマップへ表示し、
- (4) そのデータが「○○○○データ」であることを確認しなさい。

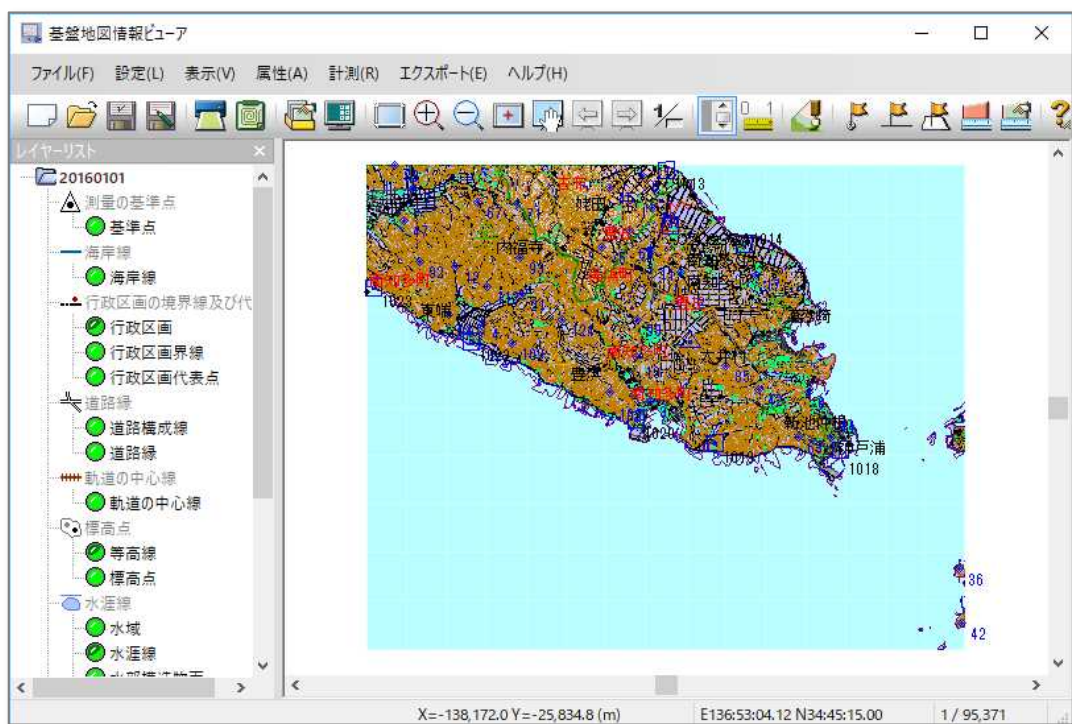
ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

●基盤地図情報ビューワ FGDV を利用したインポート方法

- ① FGDV を起動する。
- ② PackDLMap.zip を解凍した中身（例 FG-GML-523607-ALL-20160101.zip）を下図の水色部分にドラッグ＆ドロップする。

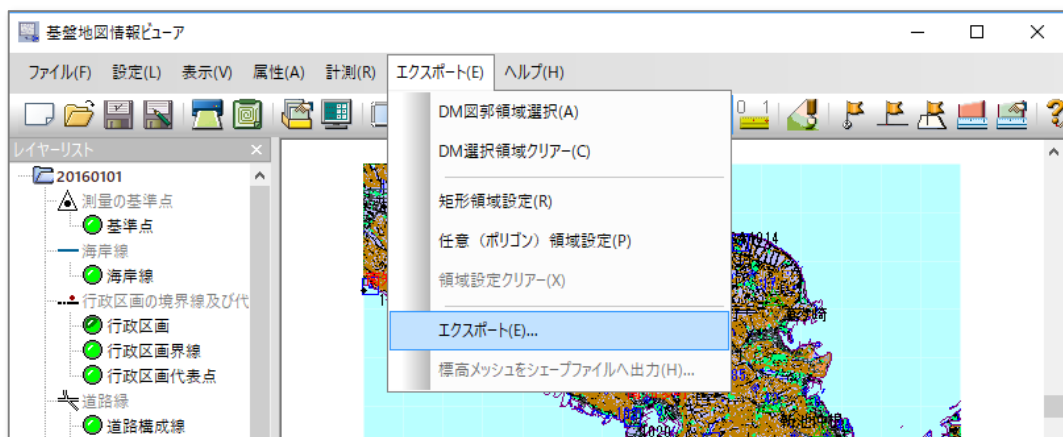


- ③ 表示のための処理が始まり、終わるとデータが表示される。



ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

- ④ メニューのエクスポートから「エクスポート (E) ...」を選択して、クリック。



- ⑤ 変換種別：シェープファイル

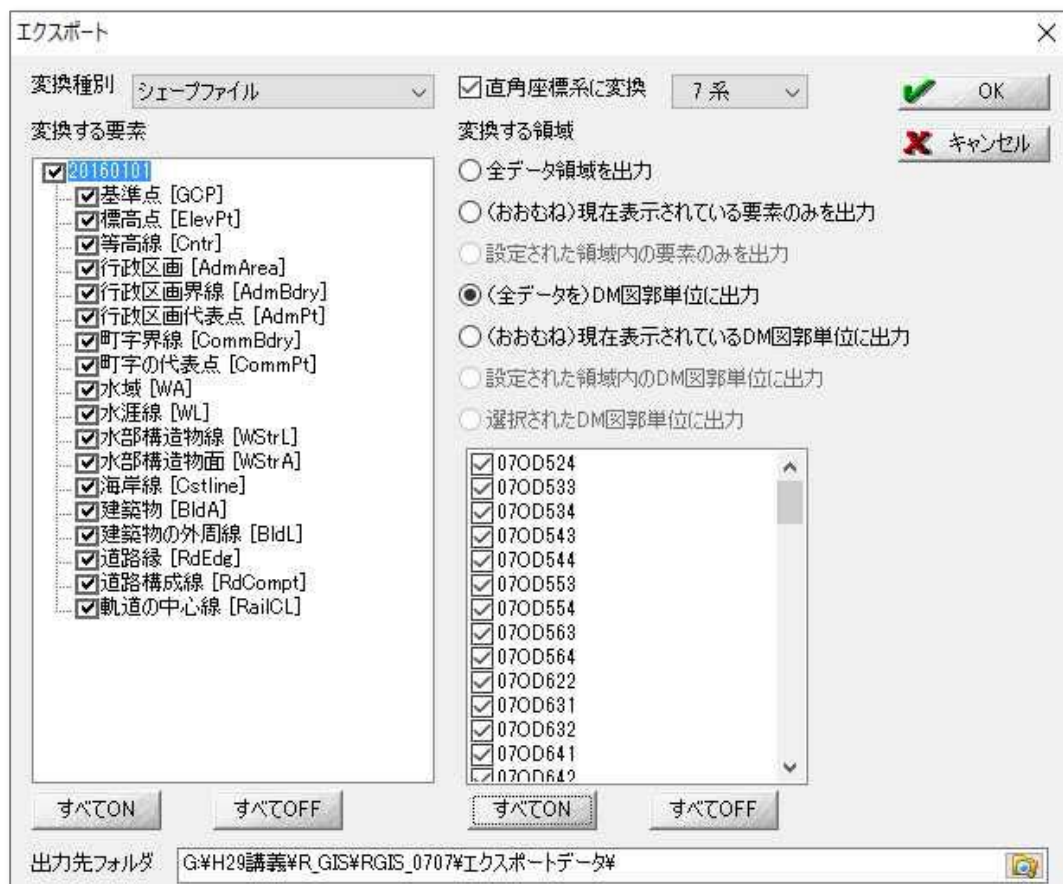
変換する要素：全部☑

☑直角座標系に変換：7系

変換する領域：全データ

















出力先フォルダ：「エクスポートデータ」(📁をクリックしてから作成して良い)

以上を設定後、適当なフォルダをエクスポート先に指定して OK すると変換作業が始まる。



ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

- ⑥ 作業が完了後、エクスポートフォルダを確認する。

コンテンツ プレビュー 説明		
名前	タイプ	
 07OD524-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD533-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD534-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD543-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD544-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD553-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD554-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD563-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD564-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD622-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD624-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-軌道の中心線.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-建築物.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-建築物の外周線.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-行政区画.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-水域.shp	シェープファイル	
 07OD631-20160101-水涯線.shp	シェープファイル	

- ⑦ 各データの座標系（投影法）を確認する。

- ⑧ ArcMap へ追加表示し、「FGDV 利用」の名前でレイヤをまとめておく。

●演習課題

課題 4 基盤地図情報ビューワを一旦終了した後、再度開き直して、「課題 3」でダウンロードした「数値標高モデル」データを表示しなさい。

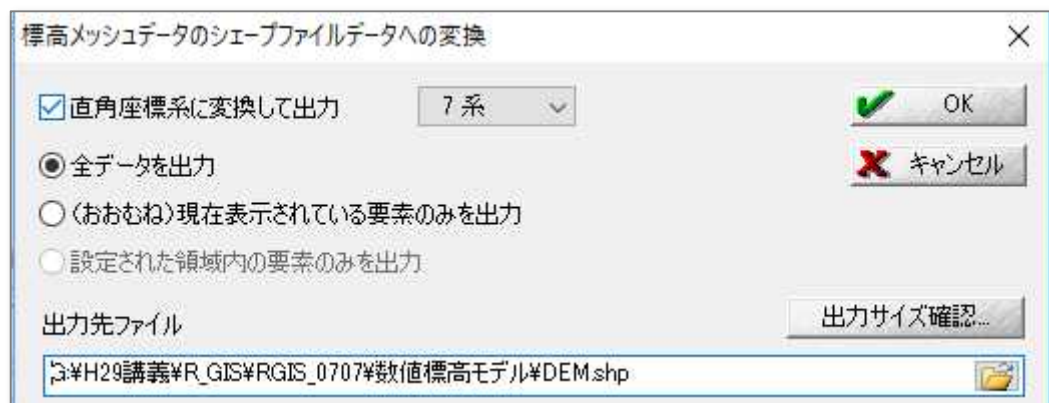
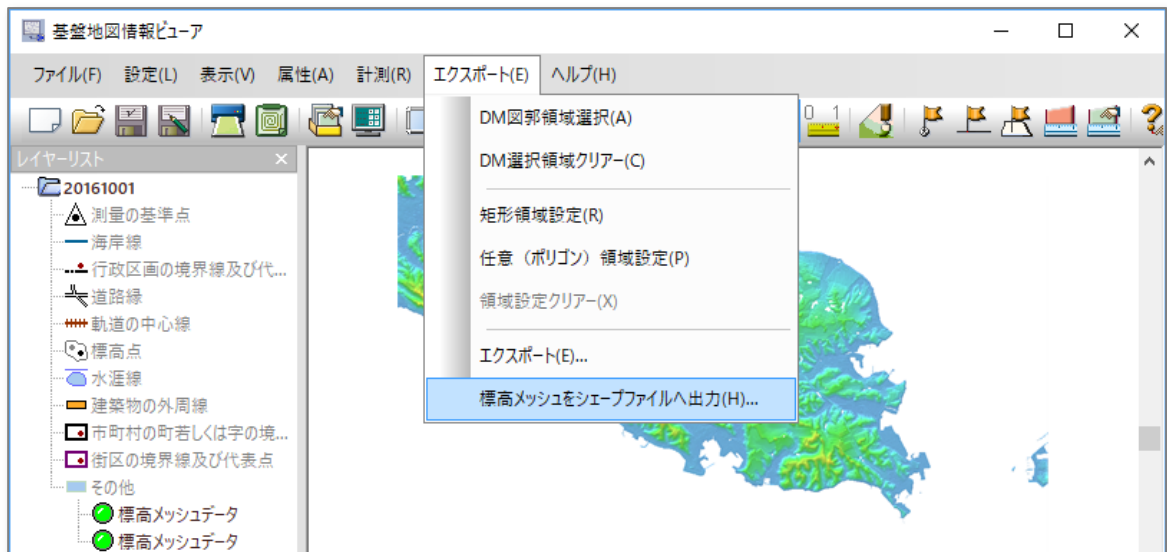
課題 5 課題 4 で表示されたデータは何というか。

課題 6 課題 4 のデータは、「数値標高モデル」フォルダへ「DEM.shp」という名称のシェープファイルとしてエクスポートしなさい。

ネットからダウンロードできるデータの利用法 1

【課題 6 のヒント】

エクスポート>標高メッシュをシェープファイルへ出力



課題 7 DEM.shp を ArcMap に追加してテーブル表示したとき、標高に相当するフィールドはどれか

課題 8 基盤地図情報ビューアの表示方法と同様な表現で、ArcMap でも数値標高モデルを表示しなさい。

標高サーフェスの作成

3DAnalyst ツール> ラスターの内挿> IDW

または

SpatialAnalyst ツール> 内挿> IDW